

事務事業名		小学校空調施設整備事業		所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	施設維持G	課長名	古田 光弘
	施策名	(27)学校教育の充実		担当者名	高島 章弘	電話番号	0854-40-1071
	目的	対象	意図	予算科目	会計	款	大事業
	目的	対象	意図				
基本事業名	(084)学校の施設・設備の充実		中事業	中事業名	小学校空調施設整備事業		
目的	対象	意図	大事業	大事業	大事業		
	児童・生徒	充実した教育施設・設備で学ぶ。	0	1	5	0	0
			1	0	0	5	0

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
近年の地球温暖化の影響と考えられる日中の猛暑対策等として、小学校の普通教室(通常学級及び特別支援学級)等空調整備にかかる設備工事及び関連業務委託等を実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)		29年度計画(29年度に計画する主な活動)		
		空調整備工事 130教室 大東小学校 11 西小学校 9 佐世小学校 6 阿用小学校 7 海潮小学校 9 加茂小学校 14 木次小学校 11 斐伊小学校 9 寺領小学校 7 西日登小学校 7 三刀屋小学校 16 鍋山小学校 7 吉田小学校 5 田井小学校 4 樹合小学校 8 電源改修工事 1式 キュービクル受変電設備改造等工事 全小学校		なし		
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 普通教室空調整備室数	室	0	0	130	0
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	市立小学校	ア 市立小学校数	校	16	16	15	15
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
猛暑による熱中症対策など、夏季における教室の学習環境改善につながる	ア 普通教室空調整備率	%	0.0	0.0	100.0	100.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
・支出内訳 工事請負費(機械設備) 150,855千円 " (電気設備) 148,840千円 委託料(設計) 4,255千円 " (監理) 2,614千円 事務費(燃料費・賃金等) 2,990千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			294,000
		その他	千円			
		一般財源	千円			15,554
		事業費計(A)	千円			309,554
	人件費	正規職員従事人数	人			1
		延べ業務時間	時間			300
		人件費計(B)	千円			1,190
		トータルコスト(A)+(B)	千円			310,744

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
近年、地球温暖化の影響と考えられる猛暑が問題となっており、児童・生徒の熱中症等への対策が課題とされている。	これまでに図書室やPC室への整備を進めている。	特別教室や食堂にも空調が必要との意見もある。

事務事業名	小学校空調施設整備事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	食堂や特別教室等の整備要望はあったが、適正な積算の上、予算内で可能な最大限の整備を計画したため向上の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	予定の整備完了による。
<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	<input type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似事業がない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
評価 の 総 括	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		設計業務委託により適正な工事費を算出しているため、削減の余地がない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		可能な限り業務委託しているため、削減の余地がない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		市内小学校の学習環境を改善する事業であり、公平・公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		全ての項目において妥当な事業であるとともに、適正に執行されている。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<p>予定の整備完了。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			